書類番号
２－３

令和６年 11 月 15 日
物　価　統　計　室

2025 年基準　モデル式の検討「ペット保険料」

１　ペット保険料のモデル品目化

ペット保険を含む保険サービスについては、通常、各保険会社が加入者のニーズやリスクに合わせて保険料の異なるプランを複数用意している。消費者物価指数における保険サービスに関する品目（火災・地震保険料、自動車保険料（任意）など）においては、多様なプランの価格変動を反映するため、複数企業の商品価格を調査した上でモデル式により指数の算出を行っている。

上記の理由により、2025 年基準における追加品目の「ペット保険料」についても指数の算出にモデル式を採用することにする。

２　調査価格についての検討

（１）調査対象の選定

ペット保険のサービスを提供する会社には、損害保険会社及び少額短期保険会社が存在するが、保険料収入では損害保険会社が全体の８割弱を占めているほか、契約件数でも損害保険会社が多くを保有している[1]。保険への加入に当たっては一般的にインターネットによる申込が可能であり、全国的に一律な料金設定でサービスを提供しているとみられる。

このことから、調査対象は保険取扱件数の多い複数の損害保険会社とし、価格は各保険会社の設定する保険商品における保険料を、全国統一価格として調査する。

（２）採用する保険料の選定

①　主な商品区分

(a) 動物種別

ペット保険の対象となる動物には、主に犬及び猫があるが、その他の動物（鳥、うさぎ、フェレットなど）を対象とする場合もある。動物の種類により加入できる商品は異なる場合がある。

また、例えば犬について、犬種（トイ・プードル、チワワなど）ごとに異なる保険料が設定されている場合がある。

(b) 加入年齢の設定

ペット保険は商品ごとに加入可能な年齢の上限又は下限が設定されている場合がある。またペットの年齢に応じて保険料は異なる。

[1] 日本損害保険協会、日本少額短期保険協会及び各保険会社公開資料を元に計算。

（c）補償内容

ペット保険の商品は「入院・手術」又は「通院・入院・手術」などの補償内容や、かかった費用に対する補償割合が設定されており、それぞれ保険料が異なる。

② 採用する商品区分

モデル式に採用する商品は、ペット保険に加入する動物種別の中で７割以上を犬が占める[2]ことから、犬を対象とした保険商品を対象とする。保険会社ごとの契約件数の多い保険商品を考慮し、下記の条件に当てはまる保険商品の保険料を採用する。

- 補償対象：「通院・入院・手術」
- 動物種別：犬
- 加入年齢：１歳
- 支払方法：月払い

３ モデル式について

保険会社（a）別に代表的な保険商品の価格を選定し、保険会社別の保有契約件数シェア（w_a）を用いて、品目別価格指数を算出する。

$$I_t = \frac{\sum_a w_a p_{t,a}}{\sum_a w_a p_{0,a}}$$

t ：比較時，0：基準時
a ：保険会社
w：保有契約件数シェア

[2] 「アニコム家庭どうぶつ白書 2023」を元に計算。